

小林壱成

ヴァイオリニスト



東京交響楽団コンサートマスター
小林壱成が初登場！ 調性の十字架によつて
描かれる美しきプログラム（トータルQ&A付き）

2023年2月26日(日)

開場 14:30/開演 15:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/
一般5,000円/学生2,500円
(全席自由席)



Program

ハイドン：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 Hob.XV:32

Haydn Violin Sonata Hob.XV:32 G-dur

ショスタコーヴィチ：4つのプレリュード Op.34

Shostakovich Vier Präludien op.34
cis-moll, Des-dur, b-moll, d-moll

ヘンデル：ヴァイオリン・ソナタ ホ長調 Op.1-12(Roger版)

Händel Violin Sonata Op.1-12(Roger) E-dur

タルティーニ：悪魔のトリル

Tartini Devil's trill Sonata g-moll

*プログラム等は、やむを得ない事情により、変更になる場合がございます。

小林壱成 (KOBAYASHI Issey) Violin

Gyarfas Competition 2019 (ペルリン) 最高位、青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール、松方音楽賞ほか、入賞受賞多数。ロームミュージックファンデーション、明治安田QOL文化財团等奨学生。NYカーネギーホール、東京・春・音楽祭、ヴァディム・レーピン監督のトランシーベニア芸術祭、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。ドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレに才能を高く認められ、読売日本交響楽団と共演。銀座王子ホールのレジデント「スマートオ」メンバー、東京交響楽団コンサートマスター。



Shibuya
Mitake
Salon



●ご予約・お問い合わせ 株式会社 ILA (渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日 10:00-18:00)、070-2168-8484(時間外可) Webサイト：<https://onl.bz/7fHgLy>

小林壱成ヴァイオリンリサイタル 2023年2月26日(日)

開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

東京交響楽団コンサートマスター小林壱成が初登場! 調性の十字架によって描かれる美しきプログラム(トーク、Q&A付き)

彼と知り合ったのは約2年前。食事会の場で少しばかり話をしたのみだったが、溢れんばかりの音楽愛、本もののオーケストラ愛に満ちた昨今では得がたい爽やかな好人物であった。

バランス感覚に優れ、正直で柔軟、かつ責任感のあるパーソナリティに、頗もしくも愛されるリーダーの氣質のようなものを感じた。そして「いつか彼と一緒に仕事できたたらきっと良い企画が生まれるに違いない」と考えるようになっていた。その後、自然に道が開かれるように、26歳という若さで、日本を代表するプロオケの一つである東京交響楽団のコンサートマスターに就任したという朗報を得ていた。コンサートマスターはオーケストラの「顔」である。彼のような人材が顔となる東京交響楽団は音楽監督ジョナサン・ノットと共に今後大いに人気を博していくことだろう。

このたびの公演が決まり、企画について彼に相談した。すると、想像を超えた小林壱成という音楽家としての精神性の高さを体験した。聴き手に音楽の素晴らしさを伝えたいという、純粋な思いや情熱から生まれるプログラムと内容へのこだわりには、こちらも背筋が伸びた。

やはりクラシック音楽には燃え上がる清らかな情熱がなければならない…。

音楽家もプロになればなるほど演奏の機会に慣れ、公演ごとの緊張感や意識が希薄になってしまうこともあるという。そして、「巧い演奏」を最上のものとしてしまうのだろう。

当サロンでは、基本的に音楽家が本気で演奏したいプログラムがベストの「音楽家ファースト」であるべきと考えてきたが、プロの音楽家として、聴き手や主宰者に寄り添う姿勢は彼の真摯な人柄なのだろう。

今回のプログラムは、私たちも常々重要だと考えていた「調性」にフォーカスすることで展開されることになった。

さらにトーク&QA付きで、聴き手とのコミュニケーションによって生まれる共感や理解を大切にしたいと考えた。

ピアニストは東京藝術大学管打楽科演奏研究員の小澤佳永氏。かのポール・マイエ氏、ヴェンツル・フックス氏など管楽器奏者からも信頼が厚く、小林氏との共演経験も長い。

小林氏より公演に寄せてメッセージをいただいたので、紹介したい。公演前に一読することで、より一層深い部分で愉しめそうだ。

サロンの文化は遡れば16世紀から。時のメンデルスゾーンがJ.S.バッハを再発見し、広めていった事と同じように、今現在を生きる私が、19世紀フランスで最高潮を迎えたサロン文化では当時できなかつた(ショスタコーヴィチのように、作曲家と作品がまだ生まれていなかつた)プログラムをお届けします。



日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



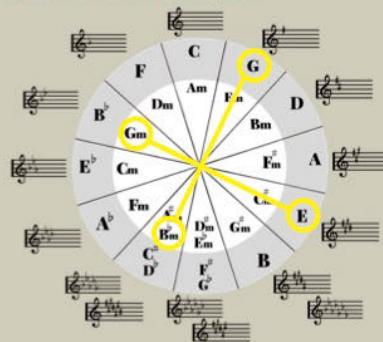
裏のテーマとして、調性が十字架で繋がります。

バッハの十字架のフィグーラやドビュッシーのヴァイオリンソナタの第1楽章の調性移動でもあるように、昔から十字架は宗教だけでなく音楽観の中にも組み込まれる事が多くありました。生の音楽はその場で聴く者全てをタイムトラベラーにし、作曲家の生まれた300年前、100年前を体験できます。現在と過去が絡み合うサロンという密接な空間だからこそ、裏のテーマを当時から普遍性を持つ十字架にしました。

十字架の線の順番は、「父(上)と子(下)と精霊(左)の御名によって(右)」(向きは右耳左耳、右脳左脳の原理)に準じています。

調性の十字架としては以下のようになっています。(小林壱成)

G-dur - b-moll - E-dur - g-moll



小澤 佳永(OZAWA Kae)Piano



小学生から高校生まで、父親の仕事でアメリカ合衆国、イノイ州にて過ごす。

東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経て同大学大学院修士課程ピアノ専攻修了。現在同大学管打楽科演奏研究員。

ヴィオッティ・ヴァルセジア国際ピアノコンクール第三位受賞。ペオリア交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団と協演。中日賞受賞。

サントリーホール室内楽アカデミー第1-3期生。サントリーホール、チェンバーミュージックガーデンに出演。第90回日本音楽コンクール特別賞受賞。宗次エンジエルヴァイオリンコンクール、日本木管コンクールにて公式伴奏を務める。

ハイドン: ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 Hob.XV:32
Haydn Violin Sonata Hob.XV:32 G-dur

ショスタコーヴィチ: 4つのプレリュード Op.34
Shostakovich Vier Präludien op.34
cis-moll, Des-dur, b-moll, d-moll

ヘンデル: ヴァイオリン・ソナタ ホ長調 Op.1-12(Roger版)
Händel Violin Sonata Op.1-12 (Roger) E-dur

タルティーニ: 悪魔のトリル
Tartini Devil's trill Sonata g-moll

誕生。
渋谷駅 徒歩2分
宮益坂、
クラシック音楽サロン、
渋谷駅、
誕生。



大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

JR 渋谷駅(宮益坂口・東口)を出て、
左前方の交差点を渡り青山方面へ坂を登る。
渋谷郵便局を過ぎばでももう少し渋谷コア
クリニックの間の小道を左折します。

